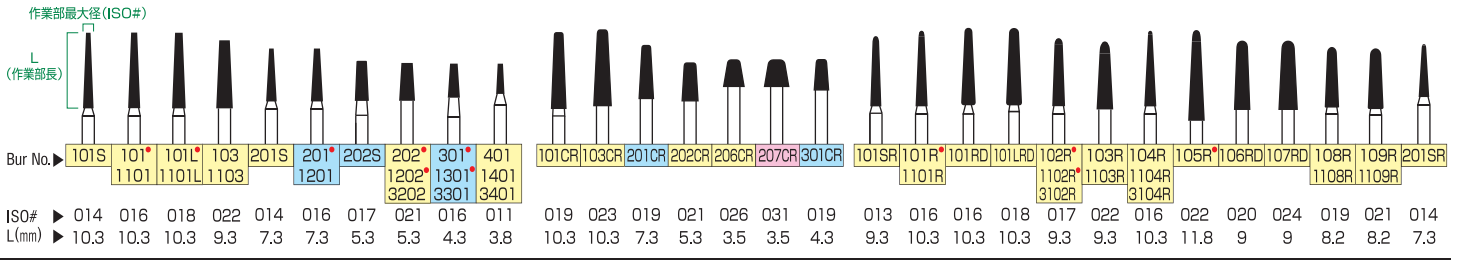


DIAMOND INSTRUMENTS FG

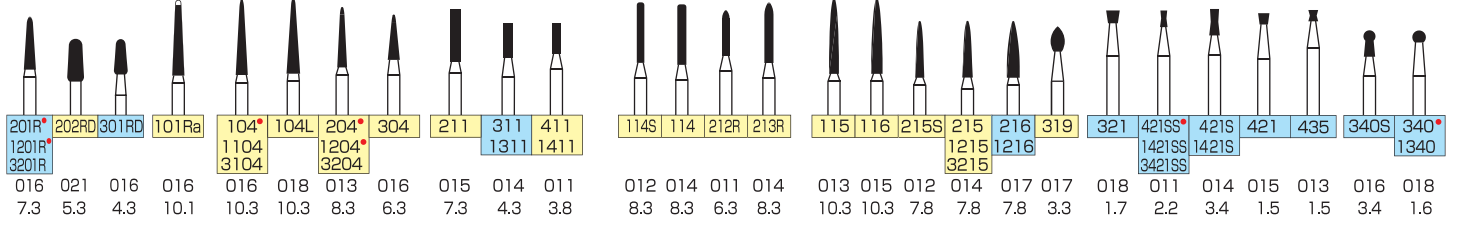
ISOナンバーは、作業部の最大径を表しています。[例 ISO:012=φ1.2mm] これは、パッケージのISOナンバーの**末尾3桁**になります。[例] 000 000 ■■■
 ●印は6本入包装のあるポイント

形図 **ダイヤモンドポイントFG** 一般医療機器 医療機器届出番号 26B1X00004000023
 歯科用ダイヤモンドバー

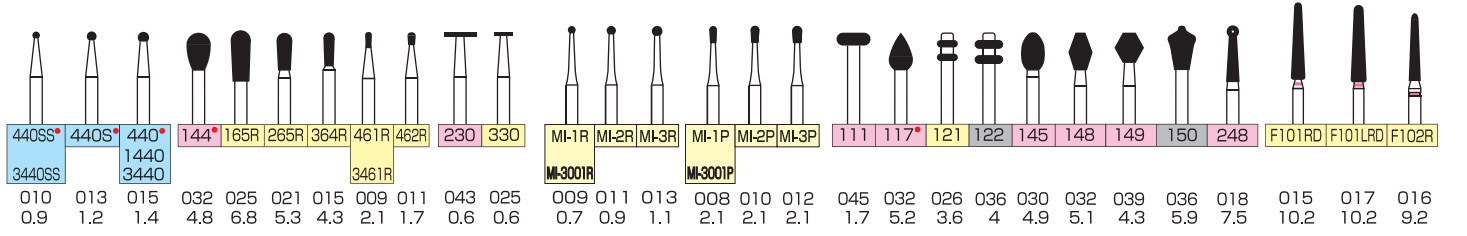
レギュラー ■テーパースリンドー(フラットエンド) ■テーパースリンドー(コーナーR) ■テーパースリンドー(ラウンドエンド)



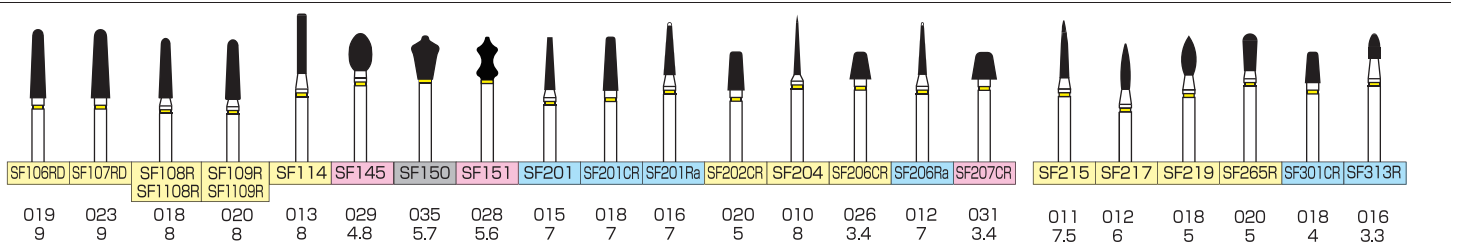
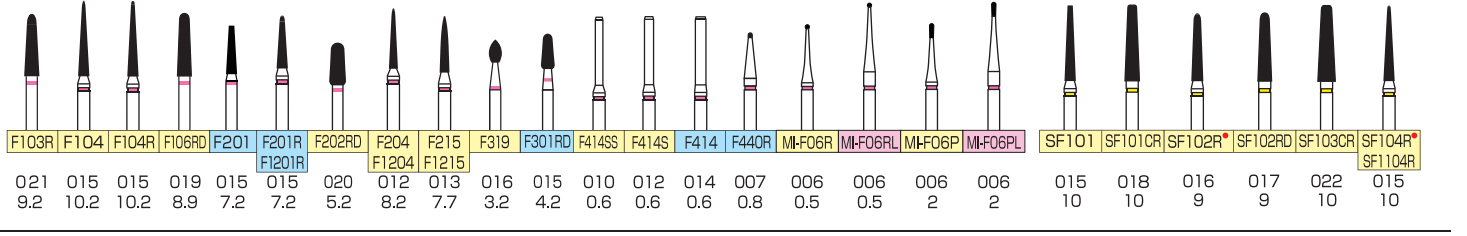
■テーパースリンドー(セーフエンド) ■テーパースリンドー(コーン) ■ストレートシリンドー ■ストレートシリンドー(ラウンドエンド) ■フレーム ■インバーテッドコーン ■ラウンド



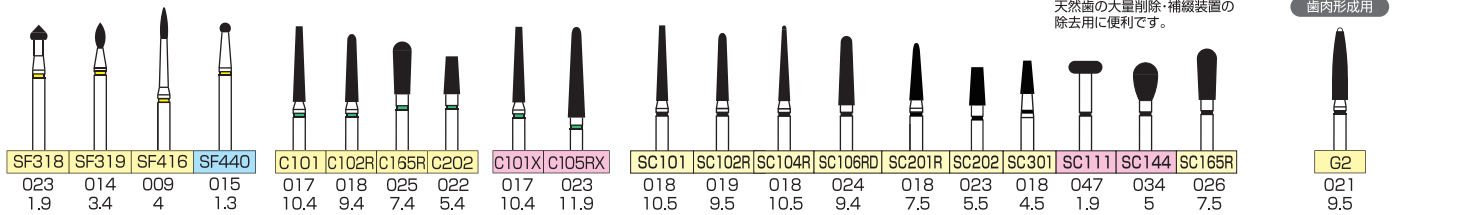
■ベアシェイプ ■スクエアエッジ ■MI(ラウンド) ■MI(ベアシェイプ) ■その他 **ファイン**



■MI(ラウンド) ■MI(ベアシェイプ) **スーパーファイン**



コース ■サージカル(2形態) **スーパーコース** ■ジンジボプラスチック(1形態)



天然歯の大量削除・補綴装置の除去用に便利です。 歯肉形成用

色表示の最高許容回転速度は下記の通りです。
 (ダイヤモンドポイントFG・ジェットカーバイドバーFG共通)

▼45万回転	▼30万回転	▼16万回転	▼12万回転
--------	--------	--------	--------

ラインなし —— レギュラー
 レッドライン —— (F)ファイン
 イエローライン —— (SF)スーパーファイン
 グリーンライン —— (C)コース、サージカル
 ブラックライン —— (SC)スーパーコース
 (G)ジンジボプラスチック

■ショートシャク[1000番台] [例] 1202
 ■スーパーショートシャク[3000番台] [例] 3202
 スーパーショートは超ミニヘッドタービンにのみ対応するポイント



全長や軸長など詳細スペックはQRコードよりご確認ください

SHOFU INC.

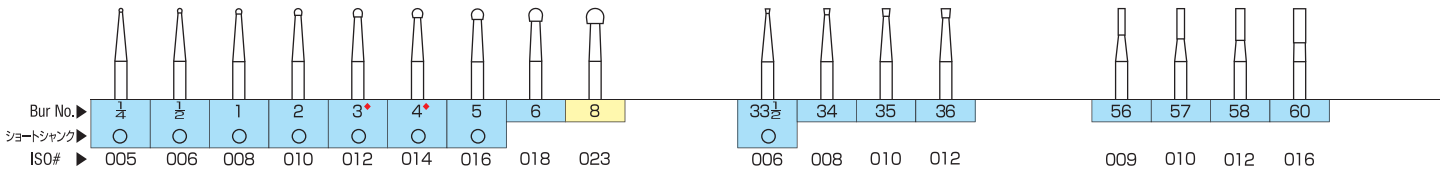
JET CARBIDE BURS FG

ISOナンバーは、作業部の最大径を表しています。[例 ISO:012=φ1.2mm] これは、パッケージのISOナンバーの末尾3桁になります。[例] 000 000 ■■■

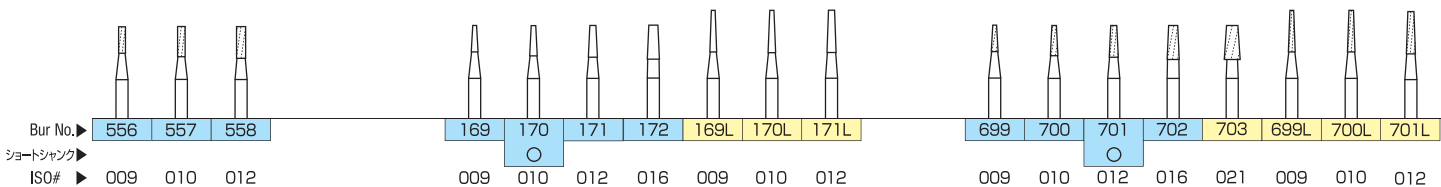
形態図 **ジェットカーバイドバーFG** (1本入)一般医療機器 医療機器届出番号 26B1X00004000108 (5本入、10本入)一般医療機器 医療機器届出番号 26B1X00004000101 歯科用カーバイドバー

レギュラー ラウンド インバーテッドコーン ストレートフィッシャー

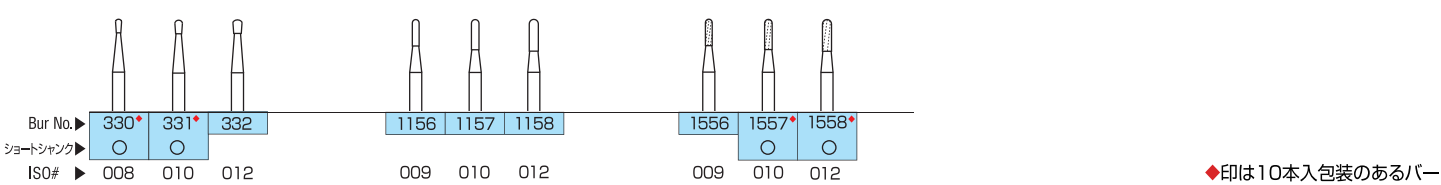
■ ショートシャンクの形態は全て超ミニヘッドタービンにも使用できます。



ストレートフィッシャー(クロスカット) テーパーフィッシャー テーパーフィッシャー(クロスカット)

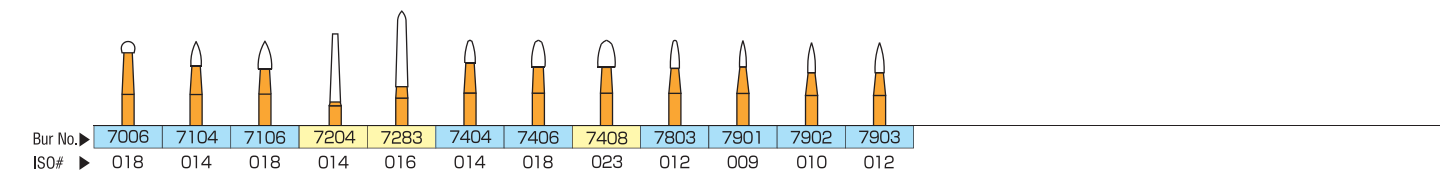


ベアシェイブ ストレートドーム ストレートドーム(クロスカット)

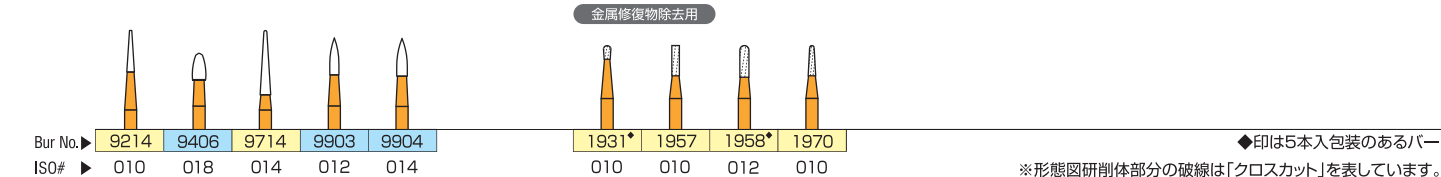


◆印は10本入包装のあるバー

フィニッシング



ファインフィニッシング



リムーバブル

金属修復物除去用



◆印は5本入包装のあるバー

*形態図研削部分の破線は「クロスカット」を表しています。

注意事項

- ハンドピースメーカーの指示に従って、シャンクを確実に奥まで挿入し半チャックでないことを確認すること。
- 使用前に口腔外で予備回転を行い、振れがないことを確認すること。
- 指定(製品の被包に記載)の最高許容回転速度を超えて使用しないこと。
- 変形、振れ、損傷(錆、表面キズ、曲がり、汚損)等のあるものは使用しないこと。
- 本材を使用して研削・研磨する際には、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。
- 目の損傷を防ぐために、保護眼鏡等を使用すること。

【ダイヤモンドポイントFG】

- 30万回転以下での使用ポイントおよびバーは、マイクロモーターハンドピースとボールベアリング式タービンに推奨できるものです。
- 16万回転以下での使用ポイントおよびバーは、マイクロモーターハンドピース用で、タービン用ではありません。
- 作業部が細くて長いものは、折れたり曲がりやすいため、取り扱いには注意すること。
また、無理な角度や過度の加圧での使用は避けること。
- 注水下で、ソフトタッチで断続的に使用すること。

【ジェットカーバイドバーFG】

- 作業部は、非常に硬い反面、切削衝撃により折れやすいため、充分注水しながらソフトタッチで断続的に使用すること。特に使い始めは、刃の食い込みによる衝撃が大きいため、作業部の破損に注意すること。
- 滅菌前に変形、損傷等の異常がないか点検すること。